



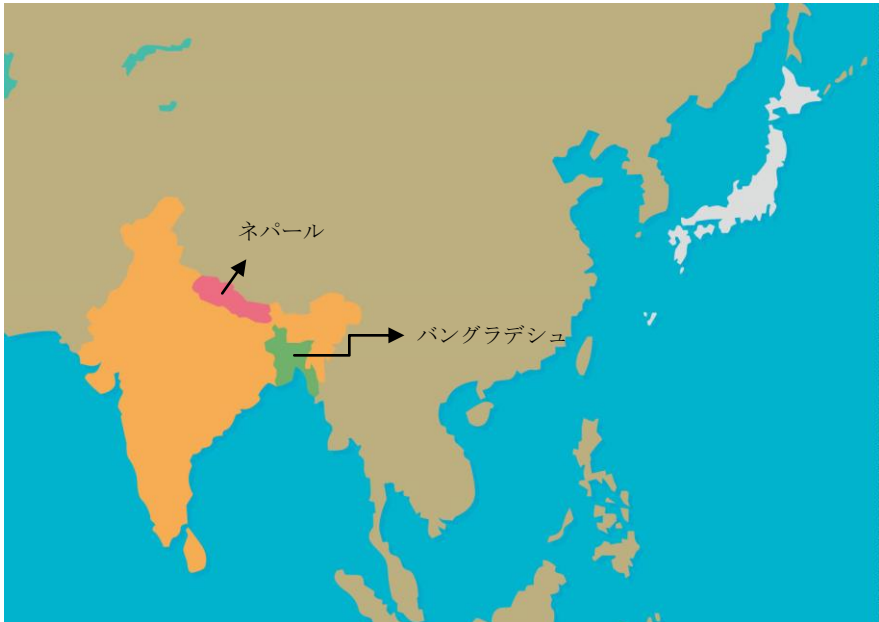
バングラデシュ・ネパールって どんな国？

なまえ

はじめに

世界には約77億の人が暮らしています。そのうち8割以上の人々が経済的に貧しい「南」の国に暮らしているということを知っていますか？彼らの中には1日2ドル以下の生活をしている人も多く、十分な食べ物が無かったり、教育や医療サービスを受けられなかったりと、貧しい生活を送っています。

経済的に豊かな国といわれる日本に暮らす私たちは、彼らの問題を遠い「よその国」のこととして放っておいていいのでしょうか？彼らも私たちと同じ地球上に暮らす仲間です。シャプラニールが支援しているバングラデシュやネパールについて、まずは関心を持って調べてみましょう！



「アッサラーム アライクム」

আসসালামু আলাইকুম

「バングラデシュ」という名前の国を知っていますか？遠い国のイメージがあるかもしれませんが、日本と同じアジアにあります。

バングラデシュでは多くの人々が「アッサラーム アライクム」と言ってあいさつをします。返事は「ワーアライクム アッサラーム」です。さあ、元気よく言ってみましょう。



おでこに手をあててあいさつをします。

Bangladesh の暮らし



リキシャ、人、車でごった返しているダッカ市内



小舟（ノーカ）に乗る人々



Bangladesh のカレー



子どもたちは元気いっぱい



カメラを向けるとたくさんの人が集まります

地理

バングラデシュはどこにあるでしょう？



面積は北海道の約2倍、人口は約1億6000万人と、日本より狭い土地のなかに日本より多い人びとが住んでいて、世界最高の人口過密国とされています。

食事



バングラデシュの人びとはお米といっしょにカレーを食べます。カレーは日本のものよりもさらっとしていて、たくさんのスパイスで味つけされています。私たちはおはしやスプーンを使いますが、バングラデシュの人は手でカレーを食べます。

ファッション

結婚する前の女の人は「サロワカミューズ」とよばれるワンピースとゆったりとしたズボンを着てすごします。また、「オロナ」とよばれるショールをかけます。

結婚している女の人は「サリー」を着ます。サリーは1枚の長い布（5メートルくらい）でできていて、短いブラウスとペチコートの上からからだにまきつけるようにして着ます。

男の人は「ルンギ」とよばれる筒状の布を腰にまいてはきます。

ルンギとサリー



サロワカミューズ



宗教

Bangladeshにはイスラム教、ヒンドゥー教、仏教、キリスト教を信じている人がいます。その中でもイスラム教は国民の約9割の人が信じており、1日5回聖地のメッカに向かってお祈りをするといったおしえがあります。

結婚

Bangladeshでは親が結婚相手を決めるのがふつうです。家がまずしいほど女の人は結婚するのが早く、男の人はおそくなります。なかには10代前半で結婚する女の子もいます。

学校

バングラデシュの小学校は5年間です。1クラスの生徒の数がとても多いので、先生は生徒の勉強をひとりずつ見てあげることができません。こどもたちは授業の前後に自分で勉強をしないと授業についていけなくなってしまいます。



みんなが来ている青色の洋服が学校の制服です。日本の制服とはぜんぜん違いますね！

調べてみよう！

—バングラデシュの国旗—

バングラデシュの国旗は緑色の布の上に赤い丸が描かれています。日本の日の丸とよく似ていますね。それぞれの色が何を表しているか、調べてみましょう！



緑 ⇒

赤 ⇒

「ナマステ」

नमस्त

ネパールもバングラデシュ、日本と同じアジアにあります。ネパールでは多くの人が「ナマステ」と言ってあいさつをします。ネパールの人たちは手を合わせてあいさつをします。みんなもやってみよう！



ネパールの暮らし



ネパールに向かう飛行機から見た美しいヒマラヤ山脈



有名な寺院であるボダナート



農作業の多くは手作業



笑顔いっぱいの子どもたち



フェアトレード石けんを作る女性たち

地理

ネパールがある場所は…



ネパールは日本の40%くらいのおおきさで、2800万人ほどの人がすんでいます。ネパールには世界で一番高い山、エベレストをふくむヒマラヤ山脈がありますが、南の方には広い平野が広がるなど、変化に富んだ自然のある国です。

食事



ネパールの人々は主にお米と一緒に豆のスープやカレーを食べます。おはしやスプーンは使わず、右手で食べます。カレー以外にもモモという日本の餃子のような食べ物もあります。

宗教

国民の約 8 割がヒンドウ教徒で、イスラム教や仏教、キリスト教などを信じる人もいます。家のまわりには、お寺や小さなほこらなどがたくさんあり、いつでもお参りできるようになっています。

民族



ネパールには多くの民族がすんでいて、顔立ちや生活の習慣、衣装はさまざまです。言葉も 50 種類以上あるといわれています。また、カースト制度とよばれる古くからの身

分制度の影響がいまでも残っていて、差別の原因となっています。

学校



バングラデシュと同じで、小学校は 5 年間です。学年が上がる時には難しい試験があり、落ちると学年を上がることができません。交通の便が悪い山間部では、通学にすごく時間がかかったり、先生が予定通り来ないなど、様々な問題があります。

調べてみよう！

—ネパールの国旗—

みなさんは四角以外の国旗をみたことがありますか？ネパールの国旗は世界で唯一、三角形を重ねためずらしい形をしています。二つの三角形はヒマラヤの山並みを表しています。それぞれの色は何を表しているか調べてみましょう！



赤 ⇒

青 ⇒

もっと知るワーク!

「あなたのことをおしえてください」



名前は?

何才ですか?

家族は何人いますか?

きのうのごはんは?

好きなたべものは?

きのうは何をしましたか?

将来のゆめは?



6時

8時

10時

12時(正午)

2時

4時

6時

8時

10時

12時



いつ結婚したい?

にがおえ

今度はバングラデシュの女の子に きいてみましょう！

名前は？ コビタ

何才ですか？ 11才

家族は何人いますか？

お父さん：リキシャ（人力車の
ような乗り物）の運転手

お母さん：専業主婦

お姉さんと妹、2人の弟の5人兄弟

将来の夢

私のような子どもたちのために、教室をひらくこと！

！

“私のような”ってどういう意味だろう？

コビタちゃんはどんな生活をしているか考えてみよう！



きのうは何をしましたか？

7時	起きる
8時	朝ごはんの準備
8時半	<small>やといぬし</small> 雇い主※（男性）へ朝ごはんを用意する
10時	<small>やといぬし</small> 雇い主（女性）と朝ごはんを食べる
10時半～	掃除、お皿洗い、洗濯、昼食の準備
2時	<small>やといぬし</small> 雇い主の子どもたちにお昼ご飯を用意する
3時～5時	支援センター※に行く
5時半	<small>やといぬし</small> 雇い主の子どもたちの世話
7時半	夜ご飯の準備
9時	<small>やといぬし</small> 雇い主の子どもたちへ夜ご飯を用意する
10時半	<small>やといぬし</small> 雇い主の家族と夜ご飯を食べる
11時	テレビを見る
12時	ねる

※雇い主…コビタちゃんをお手伝いさんとして雇っている大人。

コビタちゃんは家族と離れて、雇い主の家で暮らしています。

コビタちゃんの一日と、あなたの一日はおなじかな、ちがうかな？
気がついたことや疑問におもったことを書き出してみよう！



家事使用人とは…？

コビタちゃんは**家事使用人**としてはたらいっている女の子。



床を水ぶきする女の子

家事使用人というのは、ほかの人のお家でさまざまな家事（そうじ、洗濯、食事の用意など）をする人のことです。働いている人の多くはみんなと同じ年齢の女の子です。コビタちゃんのように子どもが働くことは**児童労働**といわれ、とても大きな問題になっています。また、働いて

いる女の子のおおくは学校にかよっていません。

このような働く女の子を助けるために、わたしたちシャプラニールは支援センターをひらき、そこでさまざまな取り組みをしています。

- ・ 文字の読み書きやかんたんな計算の授業
- ・ 保健衛生などの授業
- ・ アイロンがけ、ミシンの使い方など家事の技術研修
- ・ 将来家事使用人以外の職につくための職業訓練
- ・ 運動会や文化祭など、子どもらしく過ごす時間

そのほかにも、地域の大人や雇い主、社会全体に働きかけることで、子どもたちが働かなくてもすむように活動を行なっています。



センターで勉強する少女たち



楽しみながら様々なことを学びます

コビタちゃん^{しえん}と支援センター

コビタちゃんにインタビュー



家庭の事情で学校には通わず、家事使用人として働いています。昔は文字を書くことができなかったけれど、支援センターに通うようになってから、自分の名前をかけるようになりました！その他にも、刺しゅうや料理など、いろんなことを教えてもらっています！

私は家族と離れて暮らしているので、センターの先生がお母さんみたいに接してくれて、とても嬉しいです。将来は恵まれない子どもたちのために、刺しゅうを教える教室を開きたいです！

調べてみよう！

児童労働はどうしてダメなの？

世界では10人に1人の子どもが働いているといわれています。子どもが働くことによって…

- ・学校に通えなくなる
- ・健康が損なわれやすい
- ・子どもらしい時間を過ごせない
- ・危ない仕事をさせられる

といったさまざまな問題がおきてしまいます。

* * *

世界にはほかにもさまざまかたちの児童労働があります。どんな仕事があるのだろうか？調べてみよう！



マンガ「家事使用人として働く11歳の少女、ルビナ」

児童労働は「遠い世界の話」ではなく、今起きている悲惨な「現実」です。



朝から夜遅くまで週7日間休みはありません。



家族にも会えず、もちろん学校にも行かない毎日。



ルビナのような女の子がバングラデシュには30万人います。

Shaplaneer



11歳の少女ルビナが向かっているのは学校ではありません。



自分の家でもありません。



彼女は家事使用人としてこの家で住み込みで働いています。





支援センターにはルビナと同じ状況の少女たちがたくさんいました。



出会いと学びがはやがて自信になって、少女の心を大きくしていきます。



青い鳥は、寄り添いながら彼女を明るい未来へと導いていきました。



シャプラニールは、家事使用人として働く、学校に通えない少女のために、読み書きや裁縫を学べる支援センターの運営などを現地NGOと行っています。

少女たちの未来を切り開くために、ご協力をお願いします。 詳しくは [シャプラニール](#) 検索

今回はバングラデシュで家事使用人として働く少女たちについて、紹介しました。シャプラニールでは児童労働の他にも、防災活動や先住民族への活動など、さまざまな問題に取り組んでいます。シャプラニールのウェブサイトを見たり、シャプラニールのイベントに参加したりして、これからもバングラデシュ、ネパールの人々に関心を持ち続けてください。そして、自分たちにできる国際協力を見つけてもらえると嬉しいです。



〒169-8611 東京都新宿区西早稲田 2-3-1
早稲田奉仕園内
TEL:03-3202-7863 / FAX:03-3202-4593
MEIL: event@shaplaneer.org



シャプラニール
公式サイト



誰も取り残さない。

シャプラニール
= 市民による海外協力の会